

中学生のための地域クラブ活動に関する調査



調査概要

中学生のための地域クラブ活動に関して、ニーズや課題等を把握するための調査。

調査対象

市内の小学校、特別支援学校に通う児童（高学年）
及び保護者

回答方法

電子申請による回答

回答期間

令和5年12月8日～令和5年12月28日（21日間）

有効回答数

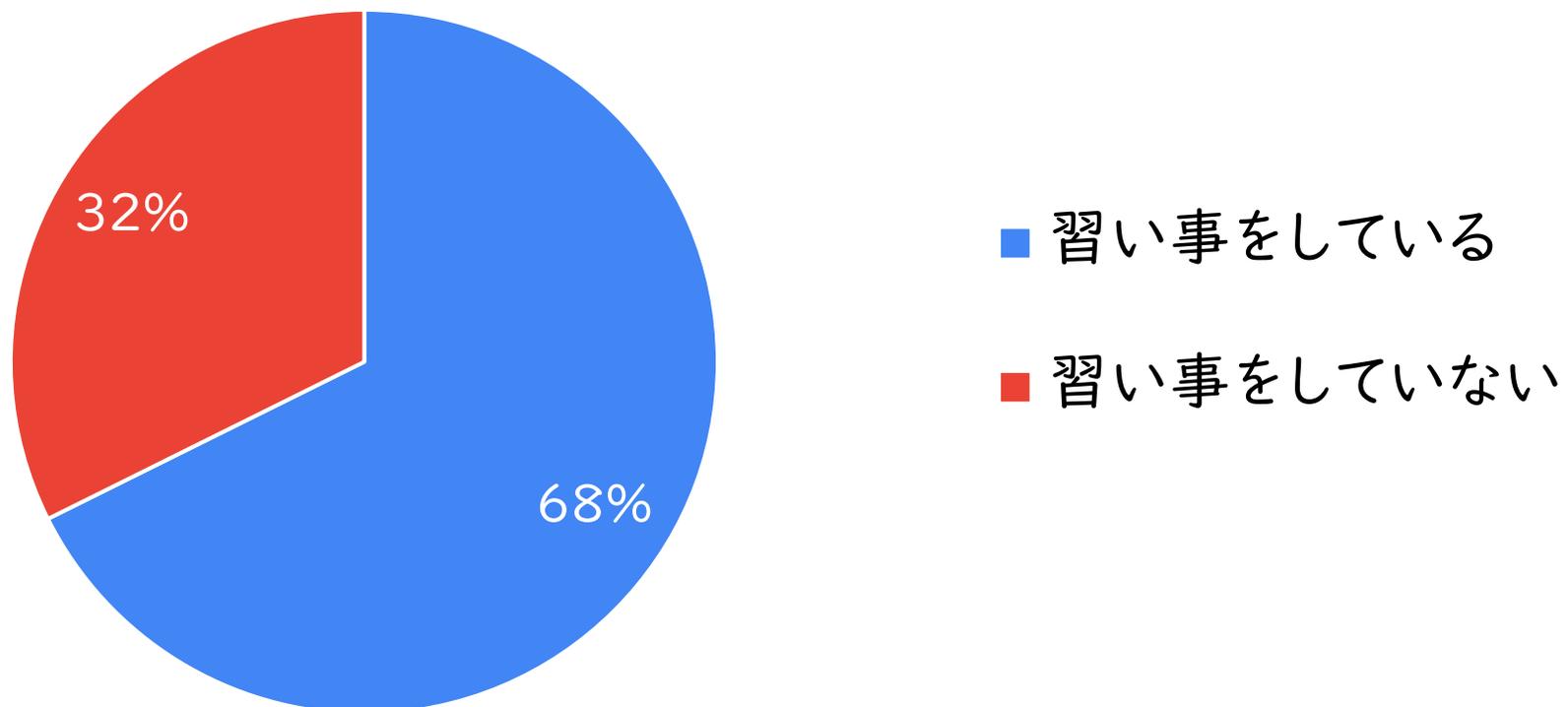
3,425件（28.6%） / 送付数11,988件

中学生のための地域クラブ活動に関する調査



Q1

児童：習い事をしていますか。(令和5年12月1日現在)

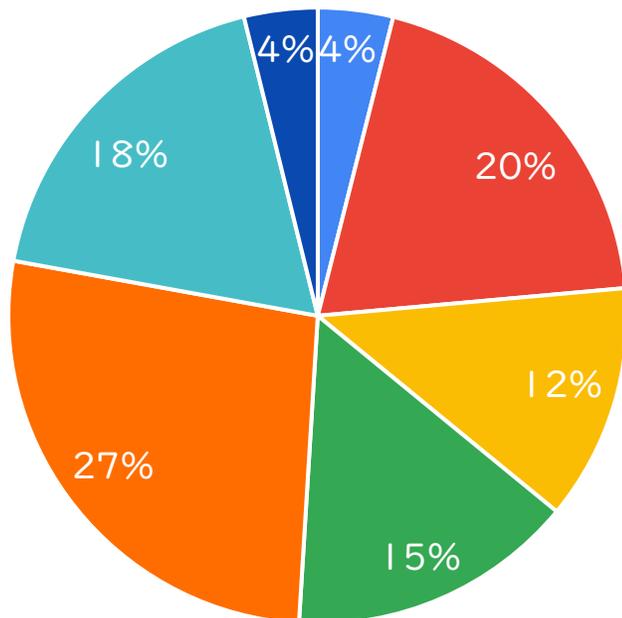


中学生のための地域クラブ活動に関する調査



Q2

保護者：習い事の費用について、平均額／月を教えてください。



- 1,000円未満
- 1,000円以上3,000円未満
- 3,000円以上5,000円未満
- 5,000円以上7,000円未満
- 7,000円以上10,000円未満
- 10,000円以上20,000円未満
- 20,000円以上



約半数の習い事は、「7,000円／月」以上の費用がかかっている

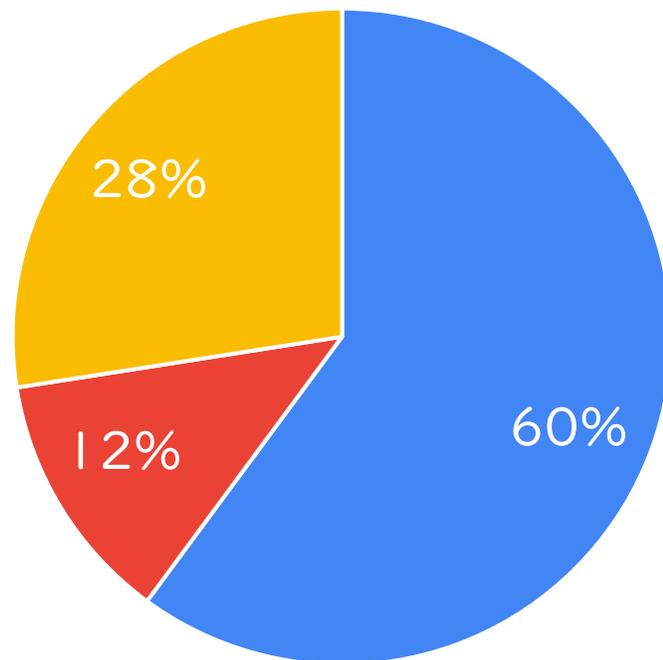


中学生のための地域クラブ活動に関する調査



Q3

児童：地域クラブ活動に参加したいと思いますか。



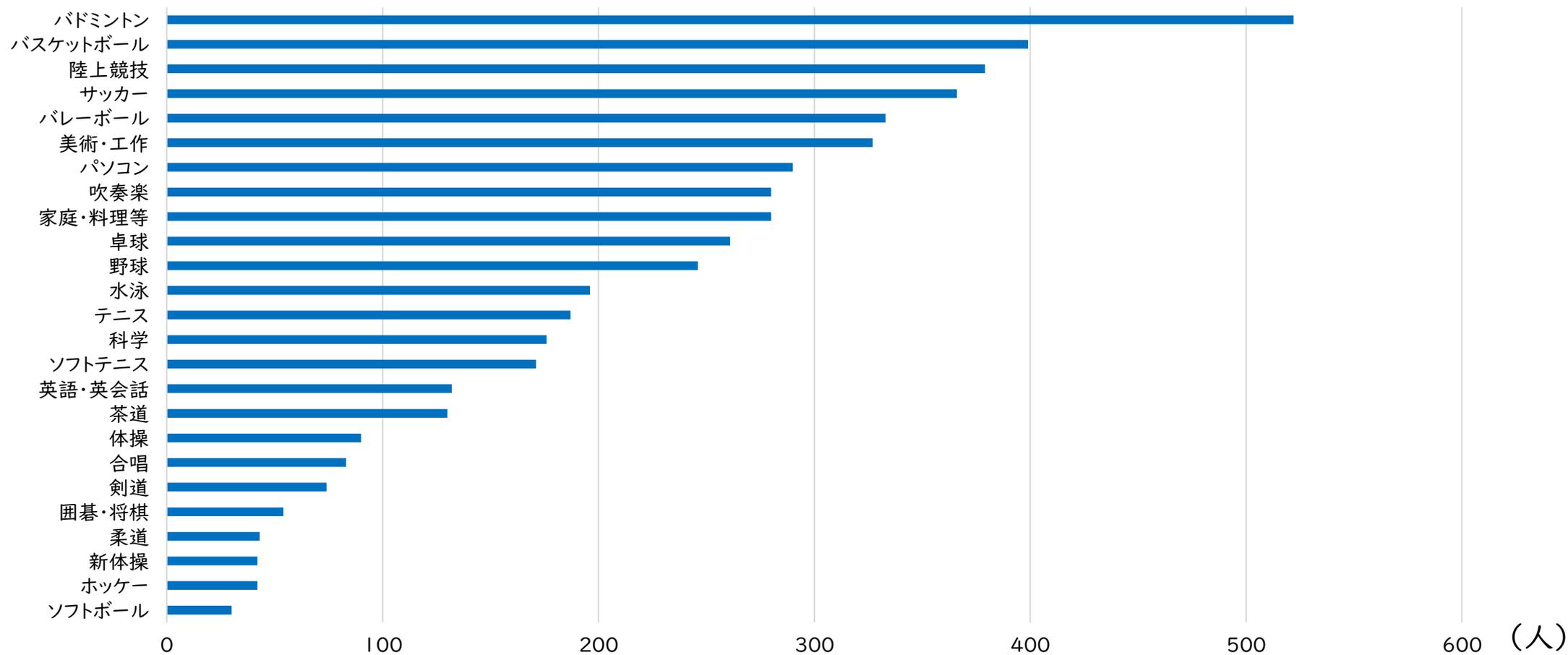
- 参加したいと思います
- 参加したくない
- 分からない

中学生のための地域クラブ活動に関する調査



Q4

児童：どんな活動に参加したいと思いますか。(3つまで選択可)

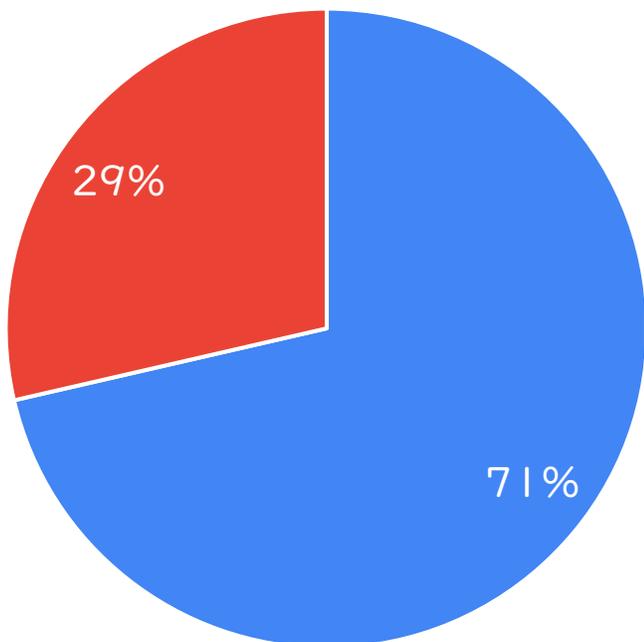


中学生のための地域クラブ活動に関する調査



Q5

児童：地域クラブ活動に参加するとしたら、
どのように活動したいですか。(1つ選択)



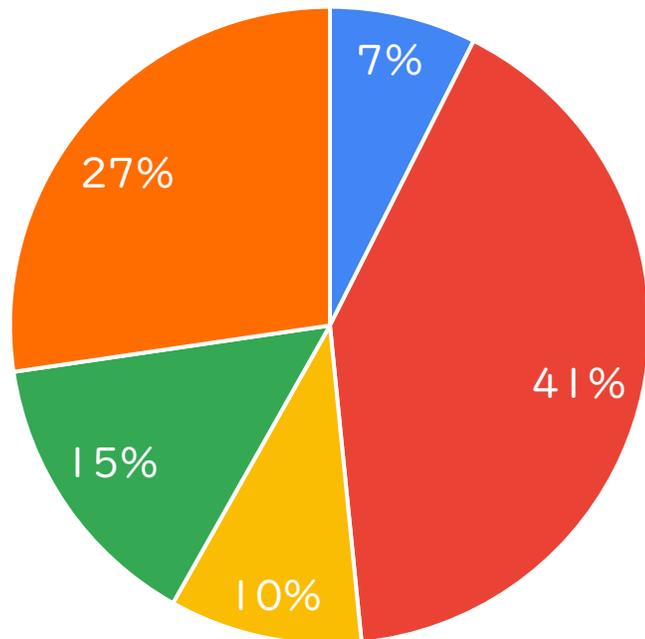
- 仲の良い友達をつくったり、一緒に活動したりしたい
- 大会でよい成績を収めたい

中学生のための地域クラブ活動に関する調査



Q6

保護者：地域クラブ活動に参加させる際、
最も重視することは何ですか。(1つ選択)



- 参加費用
- 活動場所までの送迎
- 指導者の指導力
- 活動方針
- 友達や人間関係の構築



「活動場所までの送迎」・「友達や人間関係の構築」を重視する保護者が、約7割

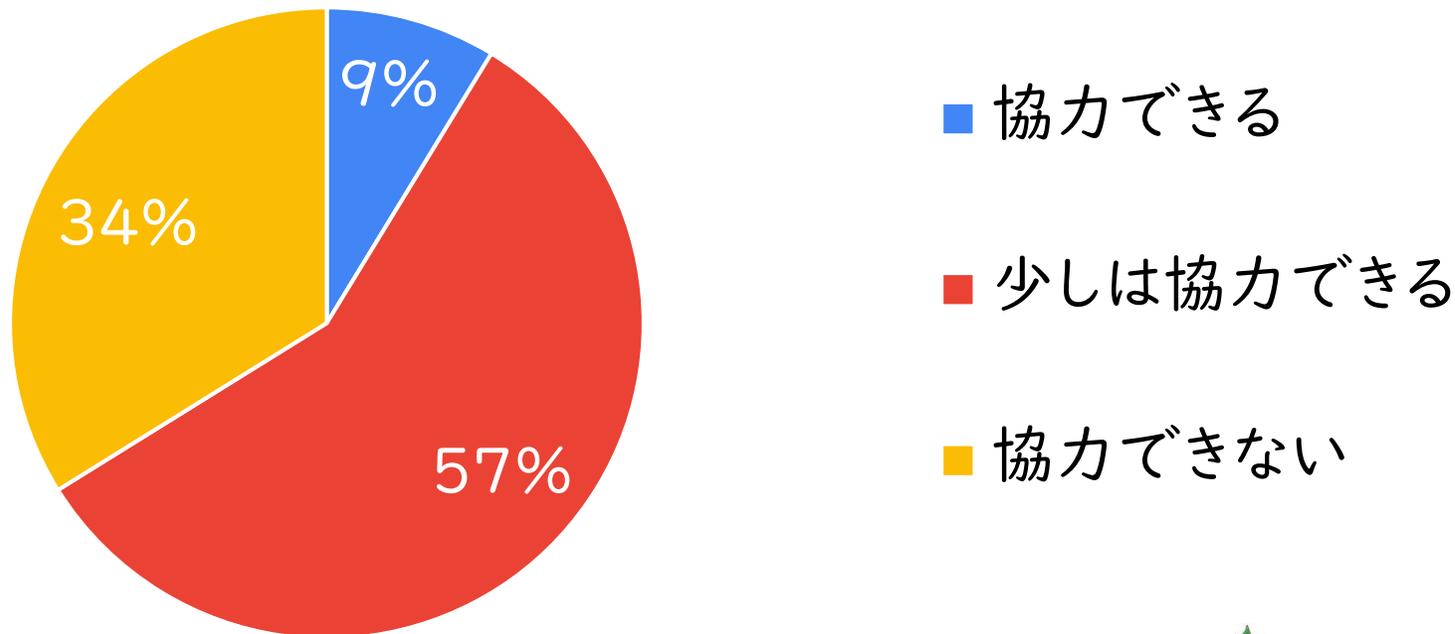


中学生のための地域クラブ活動に関する調査



Q7

保護者：保護者会の立ち上げ、団体の運営、活動の見守り等に協力いただくことはできますか。(1つ選択)



協力してくれる保護者は、7割弱もいる



中学生のための地域クラブ活動に関する調査



保護者の意見



- 地域のシニア層の方の中には知識や経験がある分野の指導もできる方もいる。また若年層との交流を喜ぶ方もいらっしゃるはず。
- 中学校に入ってからではなく小学生のうちから体験したり、情報が入ったりするのは、「いいなあ。」と思いました。
- 中学校では部活を選べるほどないので、選択肢が増えるのはよいと思います。
- 「一週間の中や季節ごとに興味のあることに複数挑戦できるのがいいね!」と子どもが言っていました。
- 社会状況が変わっているので、意識も変えていかないといけないと思います。今までと同じことを求めているは何も始まらないです。

中学生のための地域クラブ活動に関する調査



保護者の意見



- ▲ 地域の指導者の負担を考えると、ボランティアではなく、謝礼は必要かと考えます。そうすると参加費が増えますね。
- ▲ 小学生までの個人的な習い事とは違い、基本的には保護者の送迎や当番等の協力が無くとも成り立つものであってほしい。
- ▲ 学校外の施設で活動する場合、近隣の学校を巡回する送迎バスがあるとよい。
- ▲ 住んでいる区は、一校あたりの校区が広く、公共交通機関の本数も少ないです。共働きだと送迎も難しいです。
- ▲ どんなクラブがあるのか、どこで活動するのか、早めに情報がほしいです。

中学生のための地域クラブ活動に関する調査



まとめ①

- 「地域クラブ活動に参加したいと思いますか。」という質問に対して、3割弱の児童が「分からない」と回答している。保護者も「情報が足りない」という感想をもっている。ホームページ・市報にいがた等で、**より具体的な情報を発信していく。**
- 子どもたちの「やりたい」活動は、多種多様であり、現在、部活動として設置されていない活動も多い。また、7割以上の児童が「仲の良い友達をつくったり、一緒に活動したりしたい。」と思っている。**多種多様な団体が中学生を受け入れ、ニーズに応じた活動が展開できるよう、働きかけていく。**

中学生のための地域クラブ活動に関する調査



まとめ②

- 地域クラブの活動に協力してくれる保護者は、7割弱もいる。保護者を巻き込んだ活動が期待できる。
- 移動手段の確保について心配する意見が多かった。中学生が一人で移動できる範囲内（徒歩・自転車等）において、活動の選択肢が多くなるよう、働きかけていく。同時に、区バスやスクールバス等の活用について、検討を進める。
- 「今まで」にとらわれるのではなく、「これから」について考え、意識を変えていく必要がある。新潟市の大人が協力し、子どもたちの「やりたい」を支えるための新しい仕組みをつくっていくことが大切となる。